

例会日:木曜日 12:30~13:30 例会場:尼崎市昭和通 2丁目7番1号 都ホテルニューアルカイツク
 毎月最終例会 18:30~19:30 事務局:尼崎市昭和通 2丁目6番68号 尼崎市中小企業センター5階
 TEL 06 (6401) 7573 FAX 06 (6401) 7590
 http://www.amagasaki-southrc.com E-mail amasrc@amagasaki-southrc.com
 会長 松田高基 幹事 小島成介 広報委員長 與那嶺まり子



VOL.27 No.31 2013-2014

Today's program	Next program
2月27日 (第1241回例会) 「友好クラブフォーラム」 杉村 会員	3月6日 「米山奨学生」 金 蘭 氏

前回(2月20日)の報告

1. ソング

「たき火」

2. ビジター紹介

江田政亮氏 (貴布禰神社宮司)



3. 会長の時間

先々週の会長の時間で、STAP細胞の報道記事を読んで感じた個人的な話をしましたが、小保方さんの研究の着想に影響を与えたり、挫折をしそうなときに支援をされた先輩科学者の方たち、そして今後のSTAP細胞に大きな期待をされ支援を約束されている方など、STAP細胞作製には幾人もの協力者の後押しが大きかったのではないのでしょうか？

そんな協力者を数人紹介させていただきますが、まず、小保方さんは2002年早稲田大学理工学部に、人物重視で選考するAO (Admissions Office) 入試の1期生として入学されました。その面接では「再生医療の分野に化学からアプローチしたい」とアピールしたそうですが、なぜかラクロスに熱中し、日々大学生活をエンジョイしつつ、応用化学科の研究室で東京湾の微生物を何年も調べていたそうです。

ある時、指導教官から「君、本当は何をやりたいの？」と諭され、面接時の自分の夢を思い出し、大学院から再生医療の分野に飛び込み、負けず嫌いといくどわりの強い性格で一から細胞培養の技術を学び、昼夜を問わずひたすら実験に没頭していきました。

そんな時に、半年間の予定で米ハーバード大学への留学が決まり、半年が終わるころに指導教授のチャールズ・バカンティ教授から「君は優秀だからもう少し居てくれ」と言われ期間延長になり、その延長期間が小保方さんの運命を大きく変える時期になりました。

延長期間の2008年に、極細のガラス管にマウスの細胞を通すと予想より多い幹細胞ができ、「狭い場所を通る刺激がきっかけになったのではないかと」発想を転換し、この、細胞にストレスを与える着想が6年後のSTAP細胞作製の原点になりました。

そして米国の専門家にその発想の共同研究を持ちかけましたが、実績のない若手は相手にしてもらえず、仕方なく2010年に日本に帰り、当時センターで研究中の若山照彦 (初めてクローンマウスを作った現山梨大学教授) さんを訪ね協力依頼をしたところ、若山さんは「最初は信じられなかったが、僕が証明できれば米国に勝てると思った」と協力に応じられたそうです。

そして試行錯誤の結果、2011年の冬に若山さんとSTAP細胞からできた細胞を持つマウスを誕生させました。

そして英国科学誌「Nature」に論文を投稿したのですが、皆さんよくご存じのように掲載は却下され、審査した研究者からは「過去何百年の生物細胞学の歴史を愚弄している」と酷評され落ち込んでいた際に、今度は幹細胞研究の第一人者である笹井芳樹・副センター長らが支援し、データを解析し直し昨年3月に再投稿して掲載が決まったようです。

基本に帰ろう

2013-2014 会長方針

2013-2014年度 会長 松田高基

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014 国際ロータリー会長

Ron.D.Burton ロン.D.パートン



The Rotary Club Of Amagasaki South

Rotary Club International Dist.2680



ネイチャー誌掲載後の報道は、先々週お話しした通りですが、先週、iPS細胞の山中教授もテレビのインタビューに答えて、「報道は必ずしも正しい情報が共有されていない」と報道関係者に苦言を呈しておられました。

それは、iPS細胞とSTAP細胞の比較の記事で、iPS細胞のデータが8年前に発表した時点のものとの比較で、現在では大幅に進歩し、昨年には海外の研究グループが7日間ですべての細胞をiPS細胞にしたという報告が科学誌に掲載され、がん化リスクも大幅に減っているようです。

山中教授はSTAP細胞については、臓器や手足の再生など「大きな可能性のある技術」と評価する一方、人の細胞で成功した後は、安全性の検証の重要性を指摘されていました。

そして、「iPS細胞は5-10年後の再生医療を目指していますが、小保方さんには焦らず、50年後の再生医療を目指し、大きな夢を持って研究を続けてもらいたい、その為に必要なら持っているデータをすべてお渡します。」と話され、「iPS細胞は実用段階に達しました。安心してほしい」という言葉で終わられました。

iPS細胞については現在、世界に何百という研究チームがあり、そのひとつである理化学研究所のプロジェクトチームは昨年から加齢黄斑変性の治療の臨床研究を始め、この夏にも世界で初めての人への移植が実現する予定になっているそうです。

4. 幹事報告

- 先週発表させて頂きました、米山奨学生受け入れにつきまして、カウンセラーは釜田さんに決定いたしました。皆様のご協力を宜しくお願い致します。
- 本日例会終了後、尼崎南ロータリー村プロジェクト委員会が行われますので担当メンバーの方は宜しくお願いいたします。

5. 委員会報告

- 親睦活動委員会 山本（正）委員長
4月20日（日）に親睦活動委員会と職業奉仕委員会の合同企画で近江八幡の方に日帰り旅行を企画しております。皆さんご出席頂きますようお願い致します。五箇荘で「近江商人の三方よし」の講話を聞きます。
- 国際奉仕委員会 山本澄委員長
当初、今日からバンラックロータリーに訪問の予定を、今回は中止したのですが、山中会員と杉村会員が今日から行って下さいまして、バンラックロータリークラブの例会に出席しています。
- 米山奨学委員会 島谷委員長
今月のハイライトよねやまをテーブルの上に置かせていただいております。ご一読頂きまして是非ご寄付の方もお願い致します。

6. 同好会報告

なし

7. 出席報告

会 員 数	38名 出席対象者数36名 出席者数28名 欠席者数8名 出席率77.78% 前々会補正100%
本日の欠席	石田、宮崎、平川、金剛、黒田（俊）、六島、染谷、杉村、山中、吉田、各会員
メーカーキャップ	六島、杉村、山中、各会員

8. 2月のロータリーレート 1ドル=102円

9. スピーチ

「 貴布禰神社の昔・今・これから 」
貴布禰神社宮司 江田政亮氏

宏林 会員



